

宮日出版文化賞決定 本県魅力独自の視点で



第36回宮日出版文化賞を受賞した(右から)「〈現在美術〉批評I」と「高千穂の山腹用水路ガイド」、特別賞を受けた「若山牧水全歌集」

ツチな分野に光を当てた好著」などの意見が出た。

他の選考委員は楠田剛士(宮崎公立大人文学部准教授)、田畑久美子(宮崎子どもと本をつなぐネットワーク世話人)、海野由憲(県立図書館長)の3氏と吉岡智子宮崎日日新聞社編集局長。

選考理由は次の通り。

【〈現在美術〉批評I】本県の美術史を記録した貴重な一冊。芸術の世界を巧みな表現で分かりやすく伝えていく。カバーの上下をカットするなど装丁にも趣向が凝らされている。

【高千穂の山腹用水路ガイド】カラーの写真や地図と軽快な文章でつづられた高千穂の魅力あふれたガイド本。地域の歴史や文化も分かり、新たな観光資源としての活用も期待できる。

第36回宮日出版文化賞の受賞作が5日、決まった。本県アートシーンの約30年を俯瞰した批評書と、高千穂町の魅力を山腹用水路の視点から解説したガイドブックの2冊。他に類書のない独自の視点で本県の魅力を伝えている点などが評価された。(1面参照)

最終選考会には、委員長